



Hola! (オラ! こんにちは)

オラが町

## オリパラ通信 Vol.26

まもなくチリの  
パラカヌー選手が  
やってくる!

8月13日〜27日の2週間、チリパラカヌー選手団が加美町で2度目の合宿を行います。前回の事前合宿から約2年、選手との再会が待ち遠しい!

今回は、パラカヌー選手団を改めて紹介します。



カテリン・  
ウオラーマン選手

2012年に突発的な感染症により車いす生活に。すっかり気力を失っていたカテリンはリハビリでカヌーと出会います。「水の上では自分の思うがままに進める。まるで自分の足で歩いているみたい!」とカヌーに夢中になり、3カ月後には世界大会に出場するまで急成長。その後は2016年リオ大会で4位。2019年パラカヌーワールドカップで銅メダルを獲得し、東京大会出場決定!

### コロナ過での練習・活動

不要不急の外出を自粛していたカテリン選手は、自宅で筋力トレーニングやカヌー用のトレーニングマシンで練習に励んでいました。今年に入り、特別許可をもらい、川でカヌーの練習を再開し、5月に開催されたワールドカップで3位!



アリエル・  
ルビラルコーチ

13歳のときにカヌーを始め、大学卒業後は子どもたちにカヌーの楽しさや漕ぎ方を指導。指導力を高めるため、ブラジルに1年間留学し、チリ帰国後は障がいスポーツを習得。2015年にチリパラカヌー代表チームのコーチとして採用され、カテリン専属コーチとなりました。

### コロナ過での練習・活動

パラリンピック大会が延期となり、「準備時間が伸びた」と状況をプラスにとらえているアリエルコーチ。リオ大会で4位だったカテリン選手が東京大会で表彰台に上がれることを目標とし、コロナ禍の中でもトレーニングを工夫しながら、日々の練習に励んでいます。

